

5学年 単元名 [流れる水のはたらき]		○教科書 p. 72～93 ○仙台の自然 p. 4～6, 8, 10, 11, 78～81
【ねらい】 ・七北田川の様子を上流から下流まで写真を観察したり、絵や言葉で書き表したりすることにより、災害を防ぐ工夫や流れる水のはたらきによる土地の変化の様子についてまとめられるようにする。		
主な学習活動 ○発問 C 予想される児童の反応		・指導上の留意点
1 七北田川は奥羽山脈の中の泉ヶ岳から流れていることを知る。 C 野外活動で泉ヶ岳に登ったね。 C 社会で奥羽山脈を学習したよ。 2 本時のめあてを確認する。		【準備物】「仙台の自然」、Google マップ ・「仙台の自然」p. 4, 5 を提示し、奥羽山脈について学習したことや野外活動を想起できるようにする。
「七北田川を山から、平地までたどってみよう。」		
3 「仙台の自然」と航空写真を比較しながら気付いた点をまとめる。 ○石の大きさ、川幅、川の様子に目を向けて、比較しながら観察しましょう。 (1) 泉ヶ岳上流を絵と言葉でまとめる。 (2) 七北田ダムの存在を知る。 (3) 平地に流れ出た川(鼻毛橋付近)の様子を絵と言葉でまとめる。 (4) 近い位置(館周辺)の川の様子を見て、川岸の違いに気付く。 (5) 館から少し離れた川(冠橋付近)の川を「仙台の自然」の館周辺の写真と見較べることによって違いに気付く。 (6) 広がっている川(松森橋付近)の様子を観察する。 (7) 平地の川(岩切橋付近)の様子を見て、洲がある理由を考える。そして絵と言葉でまとめる。 (8) 下流の川(高砂橋付近)の様子を観察する。 (9) 蒲生干潟の航空写真と、震災前後の写真を見て、蒲生干潟について知る。		・石の大きさ、川幅、川の様子視点で観察し、まとめるようにする。 ・七北田ダムの存在を知ることによって、上流で雨水をためていることに気付くことができるようにする。 ・野外活動で撮影した写真も活用し、実際の川幅を想起できるようにする。 ・Google マップの航空写真と地図の位置関係を比較させることで、上流、中流、下流のどの位置を観察しているのか捉えられるようにする。 ・「仙台の自然」p. 8 の写真を提示し、木が倒れている様子に着目させ、水の働きに気付くことができるようにする。 ・「仙台の自然」p. 10 の写真と Google マップの写真を提示し、海の近くになると川幅が広がっていることを捉えられるようにする。 ・川原にある石の大きさや形に着目させ、上流から中流、下流になるにつれ、石の大きさが小さくなり、形も丸くなることに気付くことができるようにする。 ・「仙台の自然」p. 11 で海岸付近の様子にも触れるようにする。 ・「仙台の自然」p. 78～81 で震災前後での蒲生干潟の生物や再生の様子にも触れるようにする。
4 七北田川を上流から、下流までたどって分かったこと、気付いたことなどについて振り返りを書く。 C 上流、中流、下流で川の様子も、石の形も全然違うことに気付きました。 C 川は、泉ヶ岳から海まで続いていることが分かりました。		・「仙台の自然」p. 6, p. 8, p. 10 の写真を石の大きさ、川幅、川の様子視点で振り返り、比較させることで、川の場所ごとの違いを捉えられるようにする。 ・Google マップの地図を使い、泉ヶ岳から七北田川を通り、太平洋までつながっていることも振り返り、時間的・空間的な見方を働かせられるようにする。